

報告日 令和7年10月10日

報告回次 2日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	あさけプラザ運営協議会（四日市市あさけプラザ内）			代表者名	松永義武
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	四日市市あさけプラザ	連絡先電話番号	059-363-0123
担当者役職	副参事	担当者氏名	清水智裕	連絡先E-mail	
住所	510-8028 三重県四日市市下之宮町296番地1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	四日市市	連絡先部署	四日市市あさけプラザ		
担当者氏名	清水智裕	連絡先電話番号	059-363-0123	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	「デジタル生活、はじめの一步」		
概要	地域在住の身近なアドバイザーやYoutuberからDXやAIの技術を実体験することで、地域住民のDX活用へのモチベーションを高める。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） AI活用 ネットワークインフラ（Wi-Fi/LPWA/光ネットワーク）				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月4日	講演(実地)	12時30分	15時30分	
				活動時間（分）	180

2-2.

会場名	あさけプラザ	最寄駅	近鉄富田	
派遣場所	所在地	四日市市下之宮町296番地1	最寄駅からの交通手段	自家用車

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	荒木 克彦
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	①地元シニアYouTuberによるYouTube入門講座の開催にあたって、受講者の関心を引きつけながら分かりやすく説明するため、実演や講師自身の経験や個性を生かした講座の展開方法について助言を受けた。 ②講座開催時の進行の支援と個別質問への対応
アドバイザーへの要望事項	特にない

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	38人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	1	33		4

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	地域住民の中にはDXやAIなどデジタル技術への関心を持つ方も一定数存在しているが、身近にロールモデルとなる人材や、実際にデジタル技術に触れ、学び合う機会が乏しいのが現状である。 そのため、DXを自分の生活や地域活動にどう活かせるかを具体的にイメージできず、最初の一步を踏み出せない方が多く見受けられる。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	受講者が自らの関心分野を出発点として、3DプリンタやYouTube、AIなどのデジタル技術について具体的な活用イメージを持ち、日常生活の中でデジタル技術を身近に感じられるようになることを目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	地域住民と親和性のある地元シニアYouTube r による多人数・初心者向けの講座の開催にあたり、受講者に「私でもできそう!」と感触をもってもらえるような講座のスタイルをYouTube講師とともに考案した。 講座開催時には、後方で参加者の様子を観察しながら、適宜、参加者へのアドバイスをを行った。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	YouTubeの広く深い内容について、どのように講義するのが効果的かという点について、YopuTube講師には迷いと不安があったが、説明順序や参加者の関心の掴みどころなどの講座の構成について整理していただくとともに、講師の個性を生かした展開にアイデアを出していただいた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた 講座を開催し、受講者からも好評であった。 講座の構成は、今後の同種の講座の展開へのロールモデルとなった。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	受講者層が中高年であり、YouTubeの知見もまちまちであったため、初心者を念頭に講座を開催したが、ある程度知識のある受講者の多様な(動画の編集や著作権の問題など)ニーズには応えるには時間的に難しかった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E L や P D F での分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添アンケート結果のとおり	
4ー3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する 第3回講座 生成AIを使って絵本作家になろう
4ー4. 事業の最終的な目指す姿	講座の継続的な実施により受講者層が拡大し、地域や仲間との多様な交流を通じて、デジタル技術の体験に基づく知見が地域全体に広がる。これにより、生活の質の向上や地域課題の解決に向けたDX活用の基盤が地域社会に根付くことを最終的な目標とする。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year all houkoku/
掲載許可	☐ 掲載可	
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

